

春節餃子会 2013

外国語学部
中国語学科 3 年
中国語研究部

森表 麗香



餃子会の始まり！

私達中国語研究部は、1月29日に神奈川大学構内カルフルに於いて「春節餃子会 2013」を開催しました。

「春節」というと、テレビ等で取り上げられニュースにもなる程で、日本で生活する我々も良く耳にします。私の持つイメージとしては、爆竹が直ぐに頭に浮かんできます。

その中国の春節の雰囲気、日本に居ながらにして味わいたいという思いで開催することにした次第です。

「春節」とは、中国の旧暦にあたる正月であり、新暦の正月に比べ中華圏では盛大に祝賀されます。日本では、「一年の計は元旦にあり」とされますが中国では、旧暦の春節が日本の元旦にあたるでしょう。私の中国の友人も春節の時期になると必ず中国に帰る人がいます。

日本との違いの差もあることながら、春節という言葉だけのイメージで、個人的には寒い冬が終わり春が近付いているとワクワクしてきます。こんな気持ちになるのは私だけでしょうか？

中国でも正月料理はもちろん存在しており、鶏や魚を食するとされますが、広大な中国では地方により正月料理も大きく異なるようです。

北方では餃子が食べられているようで、日本でも馴染みの餃子で春節気分を味わおうと餃子会を開催することを決めた私は、いざ中華街へと足を運びました。

餃子を買っただけではなく、お菓子屋や会場の飾り付けに使う小道具、



形が揃って美味しそう!!

お面なども購入しました。

買い物しながら、内心では「やはり春節だから」と心弾み、中国でも同じ気持ちで春節を迎えるんだろうなと浮き浮きました。

当日は、餃子会が始まる数時間前から部員達が集まりました。

餃子の餡作りやら会場の準備に追われながらも、想像以上に準備するものが多く、思うように行かないことが数多くありましたが、それもこれも春節を迎える為だと思ふととても楽しく、私のもつ春節のイメージに助けられました。

館までは、私達中国研究部の部員が作りましたが、餃子の皮に包むという作業は参加者の方々にやって頂きました。

皮に包むのが苦手な人、得意な人等、人によって

様々でしたが、それも功を奏したのか笑顔が見られるようになりました。

会場は和やかな雰囲気に包まれ、



餡作りから手伝って頂きました。感謝感謝



真剣な人も!余裕な人も!!美味しかったです!!



ピース!!笑顔が輝いています

短い時間ではありましたが、楽しい一時を過ごすことが出来たように思います。

この場を借りて、今回の「春節餃子会 2013」を開催するにあたって私達中国研究部にお力を貸してくださった皆様と、参加者の方々に礼を申しあげます。

皆様の笑顔に助けられました。

ありがとうございました。

最後になりましたが、これからも中国研究部をよろしく願います。